

平成23年度個別施策ヒアリング資料(優先度判定)【環境省】

施策番号	29105	施策名		里地里山保全活用行動推進事業			
新規／継続	継続	領域	グリーン・イノベーション	国際的位置付け	上位	AP施策	○
競争的資金	—	e-Rad	—	社会還元	—		
施策の目的及び概要	以下の事業を実施することにより里地里山の保全・活用を推進する。 (1) 全国の里地里山保全活動への支援 (2) 技術的方策、モデル事例集の充実、発信 (3) 多様な主体の参加促進方策の検討 (4) 自然資源の利活用方策の検討 (5) 典型的な里地里山の選定等、保全活用の推進効果の検討						
達成目標及び達成期限	平成24年度までに以下を実現する。 ・未来に引き継ぎたい里地里山の調査・分析と、その成果のわかりやすい発信を通じて、保全再生の取組を全国的に推進。また、このような取組への支援により、地域における活動を継続・促進。 ・里地里山の自然資源の管理・利活用方策や、保全再生活動への多様な主体の参加を得るための社会システムを構築し、地域での自律的な里地里山の保全再生を促進。						
研究開発目標及び達成期限	気候変動対策と生物多様性保全の双方への効果を最大化する森林吸収技術(バイオマス利用等)を確立するとともに、レッドリスト上の新たな生物種の絶滅をゼロとする(2020年)。						
23年度の研究開発目標	本施策により、平成23年度中に、 ・二次林、人工林、農地など里地里山自然資源の分布や賦存状況の調査 ・里地里山の自然資源を活用した新たな利用技術開発 を実現する。						
施策の重要性	里地里山の保全・活用の取組の展開のためには、「里地里山保全活用行動計画」により多様な主体による里地里山の保全活用を国民的運動として展開する必要がある。						
実施体制	民間委託						
H22予算額(百万円)				H23概算要求額(百万円)			
91				91			
独立行政法人名(運営費交付金施策のみ)				—			
H23概算要求額の内訳	・人件費:67 ・諸謝金:1 ・旅費:8 ・その他:15 人件費内訳 ・技師長:1人等 —						
期間	H20～H24			資金投入規模(億円)		5	
これまでの成果(継続の)	(1) 平成21年1月に、全国の都道府県、市町村、専門家及び関係省庁を対象にアンケート調査を実施した結果、約600件の活動事例があることがわかった。 (2) 里地里山保全活用行動計画は、潜在的には600件をはるかに超え、国土の約4割を占める地域で展開される活動に参加する地方公共団体、企業、NPO、農林業者等さまざまな主体に対し、里地里山の重要性、里地里山の保全活用の理念、方向性、取組の基本方針及びその進め方を提示するとともに、国が実施する保全活用施						

み)	策を具体的に示すことにより、里地里山の保全活動の展開を図るものである。21年度末までに本行動計画の要素がとりまとめられた。本行動計画は平成22年10月までに策定し、愛知県名古屋市で開催されるCOP10において英語版を配布し、わが国の取組として紹介する		
社会情勢・技術の変化(継続のみ)	里地里山の環境は、長い歴史の中で様々な人間の働きかけを通じて形成され、二次的自然に特有の生物相・生態系が成立し、多様な生態系サービスを享受しつつ自然と共生する豊かな生活文化が形成されてきた。		
昨年度優先度判定(継続のみ)	—	優先度判定時の指摘への対応(継続のみ)	—
国民との科学・技術対話推進への対応(対象施策のみ)	全国の里地里山についてホームページにより情報発信するとともに、NPO,ボランティアなどの活動団体を主たる対象として研修会を開催し、アンケート調査などを実施して参加者との対話を行う。		